AFC プロリーグ特別委員会

AFC 理事会承認事項

2007年2月8日

- 1. プロリーグの定義
- 2. プロクラブの定義
- 3. 2009 年新 ACL への参加基準
- 4. 2012 年までに達成されるべきプロリーグの目標
- 5. ACL 刷新の基本コンセプト
- 6. アジアのプロリーグの調査と支援
- 7. 2009 年までのスケジュール

1. プロリーグの定義

- i. 全国規模でありチーム数が相当数ある。
- ii. ホームアンドアウェー方式で 1 チーム当たりの試合数が十分である。
- iii. 1シーズンのリーグ期間が相当期間確保されている。
- iv. 入場料が課せられており、相当数の入場者数を確保している。
- v. リーグおよびクラブ間の合意のもとにマーケティング 活動が行われている。
- vi. リーグの試合が質の高いスタジアムにおいて健全に運営されている。
- vii. リーグ統治機構が法人であり、健全に経営されている。
- viii. 「プロクラブの定義」を満たすクラブのみがリーグに 参加する。
- ix. テレビならびに紙媒体に露出が図られている。

2. プロクラブの定義

- i. チーム内の選手の大多数がプロである。
- ii. 入場料が課せられており、クラブの主要収入源のひと つになっている。
- iii. 国法上の商業的な法人である。クラブが財務諸表を作成している。
- iv. 経営が健全である。同一の主体によって 2 つ以上のクラブの株式が保有されていない。
- v. ユース育成プログラムに投資している。
- vi. 経験と資格のある指導者や有能なマネジメントスタッフを雇用している。
- vii. 所有するか使用を保証されている一定の設備を備えた スタジアムと練習場がある。
- viii. ホームタウンの自治体の支援を受けている。地域社会 と良好な関係を持っている。

3. 2009 年新ACLへの参加基準

4. 2012 年までに達成されるべきプロリーグの目標

各項目は 2009 年に始まる新リーグへの参加を決定するための最低基準と 2012 年までに達成されるべきプロリーグの目標である

		最低基準 (2009)	目標 (2012)
	・ 1部リーグのチームの数	8	12
	・ 一部リーグの1チーム当たりの試合数	21	33
	・ 全体の開催期間 (リーグ, カップ戦, プレシーズンマッチを含む)		10 カ月
	・ 1部リーグのリーグ開催期間	7 カ月	8 カ月
	・ 1部リーグのフォーマット	H&A	H & A
	・ 協会のインターナショナルレフェリーの数	6	6
1.組織	・ 協会のインターナショナルアシスタントレフェリーの数	8	8
	・ レフェリーの教育プログラム	Yes	Yes
	・ リーグの試合におけるレフェリーアセッサー	Yes	Yes
	・・リーグレギュレーション	Yes	Yes
	・ 選手の地位と移籍に関するレギュレーション	Yes	Yes
	・ ディシプリナリー・コード	Yes	Yes
	・ 昇格/降格のシステム	Yes	Yes
	・ 競技力の総合ポイント	上位 23 MA 以内	上位 23 MA 以内
	・ 平均入場料	無料でない	無料でない
3.入場	・ 1試合当たりの平均入場者数	2,000	5,000
	・ 平均入場者数が正確に数えられた人数で発表されている	Yes	Yes
	・・・リーグ運営への政府の不適切な介入の例	None	None
	・ 八百長試合	None (過去1シーズン)	None
	・ リーグ統治機構がサッカー協会に統治された法人である	Yes	Yes
4.統治/健全性	・ リーグ統治機構に競技,マーケティング,メディアを統括するマネーシメント構造がある。	Yes	Yes
	· i) クラブの代表者, ii) サッカー協会の代表者, iii) リーグの最高経営 代表者の3者いずれもが、リーグの最高意思決定機関の構成員であ		Yes
	・ CEO が常勤である	Yes	Yes
	・ リーグの監査された損益計算書と貸借対照表がある	Yes	Yes
	・・リーグに監査役がいる	Yes	Yes
	・ 放送権,スポンサー,マーチャンダイズなどの要素でリーグに中央集権 化されたマーケティングシステムがある	Yes	Yes
5.マーケティング	・・・リーグにプロモーション戦略がある	Yes	Yes
/ プロモーション	・ i) リーグガイドブック, ii) マッチプログラム, iii) ウェブサイトなど	の Yes	Yes
6.ピジネススケー ル	出版物が利用できる ・ i) 放送権, ii) スポンサー, iii) マーチャンダイズの 3 要素のすべてが ーグの主な収入源である	(リ 1 要素以上	Yes
7.試合運営	・・リーグの試合での公式なマッチコミッショナー	Yes	Yes
	・ 観客, メディア, 選手, オフィシャル, VIP のそれぞれ異なる動線	Yes	Yes
	・ セキュリティーオフィサーの指名	Yes	Yes
	・ リーグに文書化されたセキュリティー・ガイドラインがある	Yes	Yes
	・ リーグ戦での VIP とスポンサーに対するホスピタリティ・プログラ	Д Yes	Yes

(報) No.1

			(報)No.1
	・ リーグ戦でのファンサービス・プログラム	Yes	Yes
	・ リーグの試合でのメディアの代表者の登録システム	Yes	Yes
	・ リーグ事務局内におけるメディア関連部署	Yes	Yes
	・ 各クラブにメディアオフィサーがいる	Yes	Yes
	・ スタジアムにメディアのための観戦席がある	Yes	Yes
	・ スタジアムにメディアが仕事をできる部屋がある	Yes	Yes
	・ スタジアムに TV 放送のための仕事ができる空間と必要な施設がある	Yes	Yes
8.メディア	・ 試合前/試合後の記者会見が開かれる	Yes	Yes
0.グデイア	・ リーグの試合でミックスゾーンがある	Yes	Yes
	· マッチレポートがメディアに配布される	Yes	Yes
	・・ファンが利用できる試合情報をリーグが提供している	Yes	Yes
	・・シーズンでリーグの試合が始めから終わりまで放送される頻度	1 節 1 試合	最低 50%
			(全試合の)
	・ 毎週国内リーグが新聞に掲載されている	Yes	Yes
	・ 月刊ベースで国内リーグが主要なフットボールマガジンに掲載されている	Yes	Yes
	・ 個席 5,000 以上で ACL に使用できる「A-クラススタジアム」の数		
	A-クラススタジアムの状態は下記の通り		
	i. 芝の状態の質が高い。ピッチサイズが FIFA 基準である		
	ii. プレーフィールド全体を最低でも 1200 ルクスで照らすことが		
	できる照明設備		
	iii. 客席の一部に屋根がある		
	iv. 安定して十分な量の電力供給		
	V. 放送等のための導線		
	vi. 選手、審判それぞれのための別々の更衣室		
	vii. ドーピングコントロールルーム		
9.スタジアム	viii. 医務室	1	4
	ix. セキュリティーコントロールルーム		
	x. 区切られた VIP 席と VIP ラウンジ		
	xi. プレス / 写真家のための仕事ができるスペースと必要な施設		
	xii. TV とラジオのための仕事ができるスペースと必要な施設		
	xiii. 収入を生み出す施設 (例 飲食サービスのためのキオスク、チ		
	ームグッズを売るためのキオスク、特別な客を収容するための		
	スカイボックス)		
	xiv. 観客にホスピタリティーと快適さを提供するように建設されている xv. ホームタウンの年の中心もしくは国内の主要な空港から		
	xv. ホームタリノの年の中心もしては国内の主要な空港から 100km以内の地域にある主要都市から30分以内に位置してい		
	る		
10.クラブ	・ トップチームの各クラブのプロ契約している選手の数	16	20
	・ 全てのクラブにi)入場料収入, ii)放送権, iii)スポンサー, iv)マーチャンダ	Yes	Yes
	イズ, v)移籍量収入 vi)リーグからの配分金 などの収入がある		
	・ 全てのクラブが国法上の商業的な法人である	Yes	Yes
	・ 支払の遅延があるクラブがない	No	No
	・ リーグ統治機構に対する損益計算書と貸借対照表の提出	Yes	Yes
	・ 同一の主体によって2つ以上のクラブの株式が保有されていない	No	No
	・ クラブの役員または職員が他のクラブの役員または職員を兼務してお	No	No
	らず、他のクラブの株式を保有していない ・ 全てのクラブがユースチームのユース育成プログラムをクラブ内ない	-	
	・ 宝くのグラブがユースチームのユース育成プログラムをグラブ内ない - し関連クラブに持っている	Yes	Yes
	・ 全てのクラブのトップチームの監督が AFC 公認プロフェッショナル		
	ディプロマコーチであるか AFC が認めたそれと同等の資格を保有し	Yes	Yes
	・ 全てのクラブに競技、マーケティング、メディア、財務などの職務に	Yes	Yes
	責任のある有能なマネジメントスタッフがいる ・ 全てのクラブが最小規模個席 3,000 のスタジアムを所有しているか、		
	その使用を保証できる	Yes	Yes
			i e
	・ 全てのクラブが練習場を所有しているか、使用を保証できる	Yes	Yes

(報) No.1

		(+X) 110.1
・ 全てのクラブが下記事項において地方自治体からの支援を保証できる		
ホームスタジアムの使用、練習場の使用、ファンのスタジアムへのア	Yes	Yes
クセスの改良		

5. ACL刷新の基本コンセプト

- i. リーグの試合をより面白いものにする
 - a. ACL のブランド価値を高める
 - b. ファンとメディアに対するさらなる魅力
- ii. アジアのサッカーの競技力を高める
 - a. 最も良いクラブが最上の大会に参加する
 - b. より多くの AFC 加盟協会が ACL を目指す機会を創出する
- iii. 参加クラブに対するより良いコンディションの設定
 - a. クラブに適したスケジュールの設定
 - b. クラブの移動負担の軽減
 - c. 一定のステージまでは東西分かれた地域でプレー される
- iv. より良い財政状態の設定
 - a. 強固な財政基盤の確保
 - b. 参加クラブにとってより魅力的でモティベーションが出る分配金

6. アジアのプロリーグのための調査と支援

- i. 各リーグの実際の状況を調査し、評価する必要
- ii. アジアのリーグの発展の支援
- iii. インスペクションチームによる加盟協会の訪問

インスペクションチーム:

鈴木団長 +1 人

鈴木徳昭

松永隆

貝瀬智洋

加藤秀樹

川埜伸

斎藤聡

AFC プロリーグ特別委員会副委員長

AFC プロリーグ特別委員会事務局

AFC プロリーグ特別委員会事務局

AFC プロリーグ特別委員会事務局

AFC プロリーグ特別委員会事務局

AFC プロリーグ特別委員会事務局

<u>7. 2009までのスケジュール</u>

